

# Sankka

讃歌  
早春号

京都九条病院 Communication Book

◎特集① 脳卒中センター長に  
お聞きしました。

チーム医療で  
質の高い治療と  
質の高いリハビリを提供しています。

◎特集② 訪問リハビリテーションの紹介

自分らしく暮らしていただくために、  
私たちが、きめ細かなリハビリテーションサービス  
を提供しています。

◎リハビリテーション広場

○知つてよかった「お薬豆知識」講座(第17講目)

○暮らしの中で病氣予防「健康ライフ」講座(第25講目)

○ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ(第29弾)

○私の病院自慢あれこれ(第29回)

◎院内散策②

○第7回京都九条病院

病診・病病連携セミナー



脳神経外科  
脳卒中センター長  
平井 誠



院長 山本 垂水

vol.29  
2013 Early Spring  
早春号



## 特集

1

脳卒中センター長にお聞きしました。

# チーム医療で

# 質の高い治療と

# 質の高いリハビリを

# 提供しています。

京九条病院  
脳神経外科 脳卒中センター長 平井 誠

Makoto Hirai

## エキスパートがチームを組んで、 包括的、継続的なケアを行っています

京都九条病院では2007年に脳卒中センターを立ち上げ、365日24時間体制で脳卒中

の急性期治療に取り組んでいます。脳梗塞の急性期治療では、4.5時間以内ならアルテプラゼ（tPA）静注療法といった血栓溶解療法、またそれらと組み合わせたカテーテル治療を行うなど、開頭手術を含む最先端治療を提供しています。くも膜下出血においては可能な限り急性期に脳動脈瘤の再破裂防止のためのクリッピング術や脳動脈瘤内コイル塞栓術を施行、脳内出血においても必要に応じて開頭血腫除去術や定位的脳内血腫除去術

を行い、患者さんの救命に努めています。

さらに、当センターでは、高い専門性を持った医師、看護師、リハビリテーション専門職、メディカルソーシャルワーカー、栄養士、薬剤師などのエキスパートがチーム（ストロークケアチーム）を組み、シームレスケアを実践しています。シームレスケアとは継ぎ目がない治療という意味で、チーム医療の体制を整えることで各課の壁を取り払うとともに、急性期から亜急性期、慢性期（外来）まで時間的にも途切れることのない包括的で継続的なケアを提供しています。

近年、診断・治療技術が大変進歩して救命率も高くなりました。喜ばしいことに、脳卒中にかかる方も脳卒中で亡くなる方も減少してきているということです。

しかし、後遺症という観点から見るとまだまだ多くの問題が残されています。手足の麻痺や言語障害といった後遺症を発症する場合があります。寝たきりや介護を必要とする状態になる方の割合も他の病気に比べて高いのです。そのため、脳卒中の治療では、質の高い治療と同時に質の高いリハビリを提供していくことが求められています。

後遺症を軽減し、元の生活に戻っていただけるようにするためには、できるだけ早期にリハビリを始めることが肝要です。当院では、急性期で入院された患者さんに対し、早ければ入院当日からリハビリを開始しています。

最初に、ストロークケアチームが集まって各方面からその患者さんの状態の評価、つまり今どこまでのことをしても良いのか、できるのかという判断を行い、きめ細かなリハビリスケジュールを立て、チームの全員が協力してそのスケジュールを実行していきます。

## 後遺症の発症を軽減するために、 治療当日からリハビリを行っています

当センターでは、脳卒中を予防するための市民講習会を定期的

に開くなど啓発活動も活発に行ってきました。各方面のこうした啓発活動のおかげで、脳卒中中

高血圧や糖尿病、喫煙といった生活習慣病によって引き起こされやすいということが広く知られるようになり、脳卒中を発症する方が徐々に減ってきています。また、

OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。  
さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す  
前向きな姿勢を持ち続けます。

OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

- ① 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- ② 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- ③ 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- ④ 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- ⑤ 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- ⑥ 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人の健康」に貢献します。
- ⑦ 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスケアを進めます。
- ⑧ 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- ① 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- ② 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- ③ 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- ④ 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- ⑤ 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- ⑥ 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。



脳梗塞急性期治療に用いられる器具（ペナンプラ）の院内勉強会風景。看護師も実際に器具に触れてその特性を勉強しています。

さらに入院早期の段階で、その患者さんを具体的に退院にむけてどういう方向でケアしていくのかという方針を決めます。家庭環境も含め患者さんそれぞれの背景がありますので、ご本人やご家族のご意見も伺い、退院後に自宅に戻られるのか、施設に入所されるのか、あるいはリハビリ専門の施設に移られるのか、各人が目指す方向に合わせて改めてリハビリ計画を立て直しています。また、月に2回、脳神経外科のスタッフ全員でリハビリカンファレンスを行い、入院患者さん一人おひとりについて今後どのような治療・リハビリを提供し、どのように在宅復帰につなげていくかを話し合い、情報を共有し、患者さんやご家族に提供しています。

退院後を考えたりハビリで在宅への移行がスムーズになりました

こうした取り組みによって徐々に脳卒中患者さんの入院期間が短くなつてきています。それ以上に大きいのは、退院後の生活環境を考えたりハビリのおかげで在宅への移行がスムーズになったことです。今後は、訪問介護や看護の方々との連携を密にして、在宅に移行された後の患者さんの暮らしぶりを調べ、私たちの取り組みが実際にどのような役割を果たしているのかを検証し、病院での治療・リハビリにフィードバックさせていきたいと考えています。

ケアチームのスタッフ全員での勉強会を開き、チーム医療の質を高めています。また、脳卒中は早期治療が何より大切ですから、脳卒中が疑われるときにすぐ連絡が取り合えるよう、院内の全スタッフにも脳卒中についての知識をつけてもらっています。今後は、予防に対する意識を高めるために活発な啓発活動を行っていくとともに、さらに質の高い治療・リハビリを目指して研鑽を重ねていくつもりです。

脳卒中センターでは、地域の皆様に脳卒中のことをもっと知っていただくために、定期的に市民講習会を開催しています。

脳卒中について、不安や疑問をお持ちの方、ぜひ、脳卒中センターにご相談ください。

京都九条病院  
TEL 075-691-7121



自分らしく暮らしていただくために、

私たちが、きめ細かな

リハビリテーションサービスを

提供しています。



Keio University Hospital  
リハビリテーション部 課長 理学療法士  
松田 淳子

お一人おひとりの生活に合わせたリハビリを行っています。

松田 京都九条病院では、リハビリが必要で通所型のリハビリテ

ーション施設に通いたいのですが外出することが困難だというような、通所にはハードルが高いという方の要望にお応えするため、昨年5月に当病院リハビリテーションから訪問リハビリテーションサービスを開始しました。京都では

訪問リハビリを行っている事業所が少なく、こうしたサービスを待ち望んでいたという声も多く寄せられています。現在、南区を中心に約50名の方にサービスを提供させていただいています。

岩成 通所型リハビリテーション施設のサービスとの大きな違いは、個性性に対応できる点です。通所型施設のサービスには多くの人に触れ合えるなどたくさんメリットがありますが、集団での対応なのでお一人おひとりの要望に応えるのは難しい。それに対して訪問リハビリでは、在宅生活で困っていることをご相談いただければ、二つひとつ解決していけます。トイレまで移動できるようにしたい、玄関まで行けるようにしたいなどそれぞれのニーズに合わせて、各家の動線も勘案した上で、日常生活の動作に直結したリハビリが行えるのが強みです。

堀金 実際、訪問リハビリによって大きく生活の質が向上したという例もあります。20年前に病気をされて以来、ほぼベッドのなかだけで生活されていた方が、昨年の5月から私たちのサービスをを受け、車いすに座って一人で食事ができるまでに回復されました。

今では車いすで外出したいという意欲も出てきて、さらに積極的にリハビリに取り組まれていきます。訪問リハビリによって機能の回復が進み、通所リハビリに切り替えた方もおられますし、こういう変化が見られると、サービスを提供する私たちも元気が出ますね。

心のケアを大切に、意欲を引き出す環境を心がけています。

堀金 訪問リハビリには、リハビリテーションによって体の調子をを整えるときともに、心の状態を回復させるという役割もあります。ですから、家に閉じこもりがち

な患者さんの気力をアップするきっかけになればという気持ちで取り組んでいます。運動によって体調がよくなると表情も明るくなり、外に出かけたいという意欲が出てきて、精神的にも元気になっていきますし、ご家族の方も、患者さんの笑顔や頑張っている姿を見たりすることで、自分も頑張るという気持ちになりますので、相乗効果もあります。独居高齢者の場合は、私たちの訪問が人と触れ合う機会にもなっているので、言葉でのコミュニケーションも大切になっています。

岩成 意欲という意味では、自らの意志で通ってこられる通所リハビリと違い、訪問リハビリはどうしても受動的なので、患者



Keio University Hospital  
リハビリテーション部 係長 理学療法士  
堀金 未来江

さんにまずやる気を起こしても  
らわなくてはなりません。こち  
らの意見を押し付けるのではな  
く、ご本人やご家族と十分お話  
をし、また訪問介護の方やケア  
マネージャーの方とも情報交換  
を図って、その方が意欲を持って  
取り組めるような環境をつくる  
ようにしています。また、自分で  
継続して運動していただけるよ  
うに、ご家族にも一つひとつの運  
動について丁寧に説明するよう  
にしています。

**病院から  
在宅へのリハビリ継続で、  
より効果を高めています。**

**松田** リハビリの継続性という  
観点からも訪問リハビリテーショ  
ンの役割は大きいです。入院中  
リハビリを受けていた方が、ご自  
宅に戻られ、自宅環境に合わせ  
たりハビリが、訪問リハビリで行  
えれば、その方の自立のためのリ  
ハビリが継続できます。実際、寝  
たきりの状態で病院に入院され、  
何とか家の中を歩ける状態で自  
宅に戻られた方を、訪問リハビリ  
につないだところ、先日、元気に



Hiroaki Iwanari

京都大発病院  
リハビリテーション部 理学療法士  
岩成 寛明

歩いてリハビリテーション室を訪  
ねてきてくださいました。感激  
しましたよ。

**堀金** 病院から在宅への移行が、  
もつとスムーズにできるよう、在  
宅では実際にどのような運動・活  
動が役に立っているのかなど、訪  
問リハビリの状況を、病院リハビ  
リのスタッフに伝え、患者さんの  
実際の生活を見据えたりハビリ  
がより早い時期から提供できる  
よう、今後さらに充実させたい  
と思っています。

**岩成** 今後は、地域の方々のニー  
ズに合わせて、活動範囲を広げ  
ていく予定です。自分らしく過  
ごしていただくためのサービスで  
すので、ぜひ利用いただきたいで  
すね。



訪問リハビリテーションに関する  
詳しい内容や、ご相談・ご質問など  
気軽にご連絡ください。

TEL 075-694-6644  
FAX 075-694-6677

**「ショートステイマム」は  
医療的な対応が必要な方でも  
安心してご利用いただけます。**

「ショートステイマム」を開  
設してこの春で2年になりま  
す。現在では、京都市内にあ  
る約330の居宅事業所の  
うち約200の事業所にご  
利用いただいております。

当施設の利点は、京都九条  
病院併設の施設なので、医療  
的な対応・処置が必要な方に  
も気軽に利用していただける  
ところです。病院と密に連携  
が取れているので、緊急の時に  
は休日でも夜中でも即時に  
対応できます。

また、全室個室でプライバ  
シーが守られることも利点  
の一つ。「家族が面会に来たと  
きも周りの方に気兼ねせず  
ゆっくり過ごせるし、何より  
リラックスできる」と利用者  
の方にも喜んでもらっています。  
「主人が入院して、家で二人は  
不安なので」といわれる方や、  
息子さんが旅行に行かれる  
間「家で留守番しているより

安心」とご夫婦で利用される  
ケースもあり、ケア付きホテ  
ルのような感覚で利用いた  
だいています。

最近では、リピーターの方  
が増えてきました。これは、ご  
本人はもちろんご家族の方か  
らの信頼を得られている証  
だと自負しています。どんな  
方にも安心してご利用いた  
だける施設ですので、ぜひお気  
軽にご相談ください。



看護部 係長  
中川美奈子

相談員 主任  
湯井真紀 (介護士専門職)

事務 主任  
松村貴之

事務  
畑田政子

詳しくはこちらまで TEL 075-691-7667



## MEDICINE for HEALTH

知ってよかった「お薬豆知識」講座⑦

講師：京都九条病院 薬剤部係長 薬剤師  
國永 智昭  
Tomoaki Kuninaga



### 薬の服用中は 運転に要注意!!



みなさんもし存じのとおり、アルコールを摂取して、車を運転することは禁止されています。

それでは、具体的に薬について見ていきます。

同じように、薬の中にも、服用中は、車の運転をしてはいけないものがあります。そのような薬には、運転の妨げとなる眠気や傾眠、突発性睡眠という副作用が生じる可能性があるのです。

初めに、もっとも身近なものとしてかぜ薬がありますが、かぜ薬の中には、抗ヒスタミン薬といわれる眠気の原因となる成分を含むものが多くあります。また、抗ヒスタミン薬はアレルギー性鼻炎・皮膚炎・花粉症などにも使用されること

があります。次に、自律神経に作用する抗不安薬。不安やイライラを和らげるためによく使用されます。また、筋肉の緊張を緩める作用もあるため、腰痛や肩こり、頭痛に対しても処方されることもあり、こちらも眠気や傾眠が起こる可能性があります。

眠気とは、睡眠の二歩手前で周囲からの刺激に鈍感になっていく状態です。また、軽い刺激で目が覚めるが、刺激がないとすぐに眠ってしまう状態を傾眠。突然眠ってしまうことを突発性睡眠といえます。運転中にこのような副作用が起こると大変危険です。実際に、薬の副作用が原因とされる交通事故が数多く報告されています。

また、神経の過剰な興奮を抑える薬にも、眠気や傾眠が生じるものがあります。たとえば、けいれんを予防する薬や三叉神経痛、末梢神経障害な

どの神経の痛みやしびれを和らげる薬などです。ここでは、眠気や傾眠が起こりやすい代表的な薬を取り上げました。続いて、突然意識が消失する突発性睡眠を引き起こす薬について見ていきます。夜間、足にむずむずした感覚や痛みが生じるレストレスレッグス症候群（むずむず脚症候群）に使用されるお薬です（パーキンソン病に使用されること

「原因となる薬」を知り、服用中は運転しないことが重要です。

三叉神経痛、末梢神経障害な

とをお勧めします。

## NURSING for HEALTH

暮らしの中で病予防「健康ライフ」講座③

京都九条病院  
訪問看護ステーション・ママ

### 足元から健康に!!



春の日差しが心地よく、吹く風も柔らかくなり、春風を感じに外へお出かけになる

の指が変形していませんか？

そんなお出かけ前に、足元の健康について見直してみませんか。足の指は、ふだんは意識することは少ないと思えますが、非常に重要な役割を果たしています。歩く時には、かかとから着地し、次に小指側に重心（体重の多く）がかかり、同時に第四指（手の薬指に相当）、中指、第二指（手のひとさし指）に相当）が接着し、親指方向に重心が移動していきます。この重心移動を繰り返して、歩いているのです。

足の指の変形の原因は、ほとんどが靴と靴下です。足の指のストレッチを行うことも大切ですが、ふだん履いている靴と靴下を見直すことも大切です。そこで、提案したいのが、5本指靴下の健康法です。

このように、歩く時には足の指が大切になります。足の指の変形などで、足の指に力を入れて踏ん張ることができなければ、すぐにバランスを崩してしまいます。自分の足

か、確認してみてください。

崩してしまいます。自分の足

この骨の異常です。5本指靴



下だと、1本1本の指に力が分散して足の踏ん張りが効き、足指のバランスがよくなります。そして、活発に動かすことで、低下した足、足指を鍛えることにより、危険な捻挫や転倒を防ぎ、健康的な歩行を促します。このような効果から、プロスポーツの世界で活躍しているアスリートたちの間では、今や5本指靴下が常識！といったぐらい人気があります。アスリートたちも、私たちに訪問看護師も、もちろん5本指靴下を履いていますが、その良さから、ステーションのご利用者様にもおすすめしています。さあ、みなさん5本指靴下から、健康を取りいれ、春風を感じに外へ出かけてみませんか。



試行錯誤の上でできた野菜たち。今年は地植えの自然農法でおいしいメロンを作りたいと思っています。あと3年続けて失敗しているスッキーニにも挑戦したい！本には簡単にできると書いてあるんですが...

休日の楽しみは農作業。  
無農薬、有機農法でおいしい  
野菜作りに挑戦しています。

FACE  
of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ◎  
京都九条病院 消化器内科部長 消化器内視鏡センター長  
光藤 章二先生  
Shoji Mitsufuji



平成25年2月1日より、京都九条病院は日本カプセル内視鏡学会指導施設に、私は日本カプセル内視鏡学会指導医に認定いただきました。京都府下でも指導施設はまだ2施設しかありません。これからも内視鏡治療を中心に最新医療を提供できる施設を目指します。

いま私は、野菜作りに熱中しています。126㎡もの農園を借りていて、天気の良い休日はもっぱら農作業にいそんでいるんですよ。これまでに作った野菜はさまざまで、夏には、シシトウやピーマンが食べきれないほどできました。

本格的に取り組み始めたのは5年ほど前。もともと畑だった場所を借りていたのですが、いろいろな都合もあって農園を移動。ところが、そこはミミズもいないほどやせ細っていたんです。私は無農薬、有機農法で作りたいという思いがあって、土作りから始めることにしました。深く掘り返して堆肥を入れてと、試行錯誤を繰り返した結果、先日、ようやくミミズを発見。嬉しかったですね。それで土作りの楽しさに目覚めて、いまはとにかく耕すのが楽しくて楽しくて。スコップをふるいすぎてテニス肘(スコップ肘?)になってしまったんですけどね(笑)。

LOVE  
my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ◎

京都九条病院のいいところ。  
こんなところがわたしたちの自慢です。

病院のことが好き!!

好きな言葉  
favorite word  
「一期一会」  
岩田 直也  
看護部 手術・中材室



スタッフのチームワークのよさですね。緊急手術となったときには一分でも早く患者さんが手術を受けられるよう、迅速に準備を整えるのはもちろん、皆が自分の専門分野にこだわらずカバーし合うし助け合う、そうした柔軟性が高いと思います。入社して約1年。手術室勤務はプレッシャーもあるのですが、その分やりがいも大きい。オンオフのメリハリがあって切り替えができるので、自分の性格に合った部署だと感じています。

好きな言葉  
favorite word  
「根性」  
荒木 友貴  
臨床工学課 係長  
臨床工学技士



救命救急に対するスタッフの意識の高さです。要請があれば各部署のスタッフが直ちに集まって、手術に入れる体制を整えます。そのためスタッフは、365日24時間、緊急事態に備えています。私自身も、透析から人工心臓や心臓カテーテルまでトータルに担当しているので、常に気が抜けないのですが、医療を担う重要な役割という自覚を持って仕事をしています。これからも責任感を持ち、患者さんを支えていきたいと思っています。

好きな言葉  
favorite word  
「あったかい心」  
坂本 和  
事務部医事課



先輩に恵まれていることです。入社して半年あまり。まだまだ分からないことが多いのですが、事務部の方はもちろん外来の看護師さんやクラークの方など、課が違っても皆さんとても優しく丁寧に教えてくださるし、時にはアドバイスしてくださるんですよ。会計事務と受付を担当していて、カルテを出したり会計をしたりするのが主な仕事。いまは一日が無事に終わるだけで精一杯ですが、余裕を持って対応できるようにしていきたいと思っています。

好きな言葉  
favorite word  
「感謝」  
海江田 武  
リハビリテーション部  
理学療法士



スタッフ全員が明るくて、担当ではない患者さんに対しても皆が気軽に話しかけ、コミュニケーションを取るなど人間味にあふれているところです。この仕事の醍醐味は、患者さんの機能が回復してくれるのをご本人と共に喜べるところ。そんなときこの仕事は自分の天職ではないかと思えます。心がけているのは、患者さんの不安や悩みを少しでも理解し、常に前向きに取り組んでいただけるように、いつも笑顔で対応するようにしています。



# 院内散策 さんさんく

## ② 『第7回京都九条病院 病診・病病連携セミナー』

主催 京都九条病院

平成24年12月8日(土)、京都東急ホテルにて、「第7回 京都九条病院 病診・病病連携セミナー」を開催いたしました。これは、地域医療サービスの一環として、当院と地域の病院・診療所との連携、また院内のスタッフ間の連携を促進するために毎年行っているものです。

えていくためのさまざまなサービスが二元的に提供できる体制が整ったことを説明しました。さらに、在宅支援やサービスについても気軽に相談できる施設として、また地域の方々が交流を図る開かれた場所として、もっと皆さんに利用していただきたいと呼びかけました。



ツ整形外科部長が「当院における関節・スポーツ整形外科の取り組み」について講演。

「現在、京都九条病院で行っている肩や肘の関節鏡視下手術をはじめ、患者さんの負担を軽減し患者さんの早期復帰を促す治療法、またスポーツ選手の障害予防から早期復帰をサポートするシステムなどを紹介しました。

セミナーは、山木院長の開会挨拶ではじまり、第1部の最初に横尾重子看護部長が「京都九条病院看護部活動報告」を行いました。平成24年度から京都九条病院で「7対1看護」体制がスタートしたことを紹介し、それまでの体制に比べて各病棟の勤務者も増え、より手厚い看護ができるようになり、患者さんの満足度もアップしたことなどを報告いたしました。



肩や肘の関節治療、スポーツ選手の障害治療には、参加者の方から多くの質問が寄せられ、関心の高さがうかがわれました。最後に松井副院長が閉会の挨拶を行い、盛況の内にセミナーを終了しました。

続いて、稲岡秀陽介護事業部長が平成24年4月に開設した「mam・スクエア」について紹介。「mam・スクエア」の設置によって、地域の人々に医療、看護、介護、訪問リハビリなど在宅療養を支

ていくためのさまざまなサービスが二元的に提供できる体制が整ったことを説明しました。さらに、在宅支援やサービスについても気軽に相談できる施設として、また地域の方々が交流を図る開かれた場所として、もっと皆さんに利用していただきたいと呼びかけました。

京都九条病院では、これからもこうしたセミナーを開催するとともに、あらゆる機会を通して地域の病院・診療所との連携を強め、地域の方々が安心して暮らしていけるよう、サポート体制の充実を図っていきます。

### 医療法人同仁会(社団) 京都九条病院

T601-8453  
京都市南区唐橋藤屋町10  
TEL.075-691-7121(代)

医療法人同仁会(社団)  
介護老人保健施設 マムフローラ  
T601-7-0453 京都市南区奥海印寺奥/都25-2  
TEL.075-698-3388(代)

医療法人同仁会(社団)  
介護老人保健施設 マムクオーレ  
T601-8326 京都市南区吉祥院南落合町40-3  
TEL.075-691-7735(代)

医療法人同仁会(社団)  
介護老人保健施設 マムクオーレII  
T601-8453 京都市南区唐橋藤屋町38  
TEL.075-694-6655(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院  
訪問看護ステーション・mam  
T601-8454 京都市南区唐橋藤屋町18  
TEL.075-691-3620(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院  
訪問リハビリテーション  
T601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10  
TEL.075-694-6644(代)

医療法人同仁会(社団)  
ヘルパーステーション マム  
T601-8453 京都市南区唐橋藤屋町38mam・スクエア内2階  
TEL.075-694-6622(代)

京都市唐橋地域包括支援センター  
京都市唐橋地域包括支援センター-介護予防支援事業所  
T601-8453 京都市南区唐橋藤屋町38mam・スクエア内1階  
TEL.075-694-6222(代)

医療法人同仁会(社団)  
居宅介護支援mamステーション  
T601-8453 京都市南区唐橋藤屋町38mam・スクエア内2階  
TEL.075-694-6690(代)

医療法人同仁会(社団)  
ショートステイ mam  
T601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10  
TEL.075-691-7967(代)

医療法人同仁会(社団)  
同仁会クリニック  
T601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30  
TEL.075-691-7766(代)

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設)  
同仁会疾病予防研究所  
T601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30  
TEL.075-691-5070(代)

京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設)  
メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN  
T601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30  
TEL.0120-558-758